

生物化学分析部門

令和元年 11 月 6 日

各施設責任者殿
会員各位

一般社団法人
福井県臨床検査技師会
生物化学分析部門
部門長 東 正浩

生物化学分析部門研修会のお知らせ

拝啓

時下、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は技師会活動にご理解ならびにご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。生物化学分析部門では下記のとおり研修会を開催いたします。各施設の責任者、担当者および会員の皆様、多数ご参加くださいますようご案内申し上げます。

敬具

日 時 : 令和元年 12 月 4 日 (水) 18:45~19:45

会 場 : 福井県済生会病院 東館 3 階 大研修室

演 題 : **ALP・LD 測定法変更の動向と IFCC 法対応試薬のご紹介**

講 師 : **堀川 里美 (富士フイルム和光純薬株式会社)**

血清中の酵素活性は臨床検査の場において広く測定されており、日本国内どこでも同じ測定結果が得られる。これは日本臨床化学会が提示した JSCC 常用基準法にトレーサブルな測定法が大多数の施設で採用されているからである。しかし近年ではグローバルハーモナイゼーションの必要性が強くなり、日本独自の測定方法を採択している ALP、LD においては国際的な治験への参加が難しい状況になっている。このような背景から国際的に通用する測定法へ変更すべく、日本臨床化学会は JSCC 常用基準法を IFCC 基準測定操作法と同一の測定条件とした新たな JSCC 常用基準法へ変更する意向を示した。**ALP、LD ともに 2020 年 4 月に IFCC 法への切り替えを開始し、全ての検査施設で年度内に変更する必要がある見通しである。**

本研修会では、現行 JSCC 法と改定 JSCC 法の相違点について基本的な内容を学び、各施設での測定方法変更へのきっかけとなる研修会としたい。

日本臨床検査技師会の規定により、①日臨技+福臨技 0円 ②非会員 3000円となりました。

【問合せ先】 市立敦賀病院 検査室 東 正浩 TEL 0770-22-3611 (内線 4240)
【生涯教育】 基礎-20 点